

平成 20 年度 第 2 回 鳥 取 市 生 活 交 通 会 議

開催日：平成 20 年 8 月 1 日

場 所：鳥取市役所 4 階第 2 会議室

出席者：谷本 圭志（学識経験者）
谷上 學、田中 勝昭、前田 豊、岡村 博之
三谷 忠俊、油谷 都々江（住民代表）
中村 芳晴、橋本 和義（運送事業者の代表）
橋本 貞治（運送事業者の組織する団体の代表）
小谷 実（運転者が組織する団体の代表）
田中 政幸（鳥取市の代表）
但住 和雄（運輸局の代表）
事務局：高橋 慶治、鈴木 敏、遠藤 幸二（都市整備部交通対策室）

1．開会

事務局：

ただいまから、平成 20 年度 第 2 回鳥取市生活交通会議を開催いたします。
会に先立ちまして谷本会長より挨拶をお願いします。

2．あいさつ

谷本会長：（以下「会長」）

本日の会議は、前回 2 回の会議では、連携計画を今後 3 年間かけて鳥取市がどういう交通体系・サービスがよいかを盛り込んで検証していきましょうという話しでした。今回は連携計画そのものではなく、各路線の廃止等、経路変更の協議をいただきますが、今後実証運行するうえで先行して行っているという位置付けで判断していただければと思います。（そのような見方が）今後の連携計画にも活かされるという観点でご議論いただければと思います。

事務局：

ありがとうございました。本日、出席者はお手元の資料をもって変えさせていただきます。中尾委員、小原委員、横山委員から欠席のため委任状が提出されている。また、竺原委員の代理で但住様、澤委員の代理で橋本様に出席いただいています。

ここからは、規定に従い会長に議事進行をお願いします。

会長：

議題に従って進めたいと思います。3 の報告事項について事務局、報告をお願いします。

事務局：

3 報告事項（1）広域バス路線の見直し状況について
資料1 広域バス路線 平成20年10月1日からの再編内容について説明。

会長：

広域バス路線の見直し状況について、表にして報告いただきました。本日の協議事項と重なる部分もありますが、今の段階でお気づきの点等ありましたら、発言をよろしく願います。

小谷委員：

土日祝日10便全便削減はいかがなものでしょうか。やはり車のないものは強く言えないが不便だとの声があります。

会長：

どういう考え方で土日運休にされましたか。

事務局：

利用実態が平日より土日が少ないからです。

小谷委員：

例えば、デマンド型のタクシー等で利用される方の対応をされたほうがよいと思います。土日祝で買い物に行きたいという方で、家族がおられない方もいます。交通弱者できるだけいいように検討をしていただきたいと思います。

事務局：

現在、福部地域の過疎地有償運送、気高循環バスについても利用実態は通勤・通学・病院等の利用であり、土日は運行休止です。更なる検討もしていく中で予約型のタクシー導入も考えています。今のところの再編では利用実態、経費等の関係もあり土日運休と考えています。

会長：

その他ありますでしょうか。（2）国庫補助対象路線の運行計画について説明をお願いします。

事務局：

バス路線中河原線（上地線）の経路変更について。
資料2（4ページ）に沿って説明。

会長：

ありがとうございます。

協議事項 の中で質問は受け付けます。協議ですので、いろんな角度からご意見を願います。4 . 協議事項 の説明の説明を引き続き願います。

事務局：

資料2に沿って説明。

会長：

お分かりいただけでしょうか。地図で見ると高岡線の緑色部分と点線の部分が廃止になる。つまり、法花寺・三代寺・広西の方の足がなくなるが代替タクシーを運行し、因幡万葉歴史館線と接続する。高岡、ピンク色の上地線を高岡経由にすることで空白はつからないということです。

ご提案に対してご意見いかがでしょうか。

中村委員：万葉歴史館のコースは5往復。午前中の便が岩倉 宮ノ下 支所 万葉歴史館のコースです。午前は2便あります。午後の3便は逆コースで運行予定です。時間は、岩倉線の減便もあるので一部時間調整をします。

会長：

今のは補足説明ということで。いかがでしょうか。住民の方の反応はいかがでしたでしょうか。

事務局：

説明会では、そもそも高岡線自体が通勤通学に向いていないダイヤであるので、通勤・通学に利用できる朝・夕方の便をいくつか作ってほしいという意見がありました。また、昼間の利用は少ないです。バスを運行することは考えていないので、国庫補助路線 中河原線等に乗継ぐ形で、宮ノ下までタクシーを延長してほしいという意見がありました。現在、意見は募集している段階ですが、まだまだ検討の余地はあります。市として、現在の案がベストではないと思っています。しかし、現段階ではこの案であると思います。少し外れているが、国分寺地域は空白地域でそこをどうするのかという問題もあります。今後、住民の皆様の意見を聞き交通連携計画を策定しながら、新たな交通体系の検討をしていきたいと考えています。今のところは廃止に伴う代替案です。

会長

長期的に考えたら、本来は従来からの空白地域もなくす必要があると思います。法的には分かりませんが、エリアでくくって、自由にまわせるような。エリアをデマンドでカバーするという発想をしていただきたいと思います。乗継ぎがあると不便になるかもしれないが乗車機会は増えます。そのような点をPRしていただくのが良いと思います。全部直行便は困難です。いろんな交通手段でカバーするのが長期的には良いでしょう。

橋本委員：

緑色の部分、タクシー部分ですがお客さんから電話もらってから行くのですか。どのようにタクシーとしては関わっていけばいいのですか。

事務局：

バスダイヤに合わせて、それに間に合うようにしていただきたいと思います。

橋本委員：

電話をいただいて行く。あくまで予約ということですね。

業界で3社手が挙がっています。市から地域のタクシー会社ということをおっしゃいますが、今は業界の約半数がGPSを備えています。営業所はなくなっているが、GPSへの対応・投資もしています。

会長：

営業所がなくても流しの体制がとれるということですか。

橋本委員：

はい。余談になりますが、高岡はタクシーの利用は多いです。市立病院、地域の森医院の利用が多い。高岡・美歎は、利用頻度は高いです。

事務局：

市立病院の利用者が多いということで、一昨年の国府地域で意見もありました。将来的に津ノ井・国府線の市立病院のルートについて検討の余地があります。

会長：

いかがでしょうか。

田中勝昭委員：

路線がどうこうの問題ではないですが、代替タクシーは予約が必要です。地域住民の足を確保するものです。しかし、外部から来られた方に対しても分かるようになっていきますか。どういったPR方法を考えられていますか。

事務局：

業者がきまったら、全戸配布します。バス停等にも貼ります。

事務局：

外部から来られる方ですが、バスの便数も少ないので、時刻表等も見ずに行かれることはないと思われます。時刻表の掲示については、事業者にも協力いただきたいと思います。吉岡の洞谷についてもそういう協力をいただいています。

会長：

バスターミナル、インテリジェントの中で代替タクシーの検索はできますか。

橋本代理：

バス会社がデータをどこかに入れ込む形になると思います。

会長：

大学に確認しておきます。この件についてはご提案の内容でご確認いただきました。つづいて協議事項「西郷線の経路変更について」、事務局説明をお願いします。

事務局：

資料3「バス路線西郷線の経路変更について」

内容：叶交差点を右折し、市立病院を全便経由する旨報告。

会長：

個人的には、何でできてなかったのかと思う。こういう足があって当然だと思う。便数は鳥取行11便、北村行11便です。

橋本代理：

1便あったのですか。(資料3で北向きに2本線があり、西側のみの説明であったため。)

事務局：

1便ありました。南中経由の便も市立病院経由になります。

田中政幸委員：

通勤通学で使われている人はどれくらいいますか。

中村委員：

通学であれば、河原中・小学生が中心です。鳥取着便は6分位、着くのが遅くなります。しかし、鳥取着の時間は調整できます。

田中政幸委員：

鳥取発着の時間は変えないのですか。

中村委員：

ずれるところもありますが、基本的にプラス6分かかります。

田中委員：

例えば鳥取駅のJR乗り継ぎは大丈夫ですか。

中村委員：

接続の配慮もします。

田中委員：

今日は、経路だけの確認ですか。通勤通学の人が不便になってしまうのが心配です。協議せずにきめていいのですか。

事務局：

53号線は、1日60便ある。北村線の人が何人使っているのかが問題です。あらかじめ、バス事業者からダイヤはいただいています。着時間は変えないように話しはしています。そんなに大きな影響はないと思います。北村線については、地元で報告させていただきます。

会長：

変更の経緯はどうですか。

事務局：

南部地域からの意見もでていたので事業者さんと話しをしました。国庫補助路線はルート変更ができないので全便となりました。

橋本委員：

時間についてざっと分かりませんか。これが11ページが新しい時刻表ですか。

事務局：

69が新しい時刻表です。

橋本委員；

叶の病院の利用は高いです。バス経路としては、市立病院経由はいいと思います。

会長：

智頭線とか、外の沿線からも要望がでてくる可能性はありますか。

事務局：

あるとは思いますが全便は不可能です。河原より南は、河原口から乗継ぎを考えていません。

会長：

特定路線のみを市立病院経由にする理由は何ですか。

事務局：

国庫補助路線としたい。それを強化するためです。

会長：

橋本委員が言われたとおり見込みのある路線なので、拡充するという認識が必要です。

田中政幸委員：

会長からもあったが説明の仕方を工夫したほうがいいと思います。

北村だけが利用しているのではない。河原口から駅のどれくらいが乗っているのか、説明がほしいと思います。

事務局：

河原口からは智頭・佐治・西郷線を含めて、66便運行しています。1/3が市立病院経由になります。

小谷委員：

乗継の停留所の設備を考えて行かないといけないと思います。冬季は特に。乗継の不便があるので大事なことです。特に乗継の場合の見直しをしていただきたらと思います。

事務局：

今後、フィーダー化が多くなるので検討が必要です。

小谷委員：

主要な場所は、仮設トイレ等も考える必要があると思います。

事務局：

事業者と県と協力して乗り継ぎ拠点の協議をしていきます。

会長：

例えば、患者さんがバス停ではなく病院で待ち、バスがつくころに病院に連絡する。バスロケーションシステムがあれば何てことないと思います。システムがあれば、利用者にも病院にもよいと思います。そういう視点も視野にいれることが大事です。

橋本委員：

バスに乗っている人の年齢層はどうなっていますか。

中村委員：

高齢の方が多い。後は、車の運転できない女性の人や学生です。

橋本委員：

低床バスは郡部にも走っていますか。高齢の方は段差が非常に危険です。

中村委員：
走っています。

橋本委員：
低床がいいと思います。需要がある。そのあたりはどうかという心配があります。

中村委員：
新しい分は全部導入している。

小谷委員：
バスはバリアフリーO.Kです。停留所の整備が遅れています。バスは仕様で決められています。停留所の段差の整備が急がれると考えます。

橋本委員：
病院等のバス停に台を置くのはどうでしょうか。少しの気遣いです。低床バスは大金がかかるとは思いますができることからやる必要があります。

会 長：
バリアフリー化はバリアを除去する一つ的手段です。特に事業者さんになるのか、検討いただけたらと思います。

小谷委員：
停留所のあり方ですが、逆への字型のバス停に改良したら乗降がやりやすくなるがどうか。広島バスセンターが試験的にやっています。また、鳥取西病院では車椅子の方もスロープなしで乗降できます。また見てください。

田中政幸委員：
今の話しは大変興味深い話しですけど、事業者の方から個別に意見をもってきていただきたい。一番良く知っておられるのは、運転手さんだと思われれます。分かっている人が言ってくれたらやりやすい。道路幅員等の問題でできないものもあります。できることからやりたいと思います。

会 長：
他にございませんか。西郷線の話だけではなく大事な観点での話しでした。西郷線についての時刻については議論していただく。住民へのコミュニケーション、その点はしっかりやっていただくほかありません。ご提案の形で進めていただいてよろしいでしょうか。

会長：

それでは、市立病院線の廃止について事務局、説明をお願いします。

事務局：

資料3 市立病院線により説明。

内容：鳥取駅から市立病院は、16便運行しているが、西郷線が市立病院を経由することになり、重複するので市立病院線を廃止したい。西郷線は22便運行となるので、結果として6便増となる。

会長：

市立病院線は、廃止となるが西郷線の市立病院への経由により結果的に増便とするということですが。

田中委員：

市立病院線の時刻表と、西郷線の時刻表を比べて同じ時間を運行しているわけではないが偏りはないですか。

事務局：

日ノ丸自動車さんこのあたりいかがでしょうか。

中村委員：

現在の市立病院線は、10時発にしているが、利用者が少ない。また、鳥取駅発、市立病院行きは日本交通さんも運行されていますので、現実的に対応できると考えます。

前田委員：

病院に行くバスは早いのが欲しいです。朝に病院に行き、昼に帰るのが欲しい。それで、今のダイヤでは空になっているのではないですか。市立病院に行く線は外にどこがありますか。

中村委員：

吉岡・松上・散岐線があります。

橋本代理：

日本交通は雲山の車庫に帰ります。朝も7時40分も運行しており5分刻みであります。

橋本委員：

病院は9時までを多くしたほうがいいと思います。それ以外は利用の度合いにより減らしてもいいのではないのでしょうか。病院は9時までに行かないといけませんので。

橋本代理：

昼以降はおっしゃるとおり空です。抜き出して、その便だけを経由しないのは混乱があ

ります。

会長：

それでは、市立病院線の廃止についても提案どおりでよろしいでしょうか。
バス路線逢坂線の廃止について、事務局、説明をお願いします。

事務局：

資料 により説明。

内容：バス路逢坂線の廃止にともない、気高循環バスを運行する。

会 長：

今までは7往復。気高循環7往復するということですね。利用者数はどうですか。

事務局：

利用者は少ないです。1日7便。浜村発13名。鷲峰発15名です。

田中勝昭委員：

逢坂線の鷲峰に住んでいます。乗降状況についてはいつも確認している。出られる方は2名。最終で帰られる方は高校生1名です。説明会をしていただいたが、地域のみなさんも致し方ないという考えをしている。

会長：

この地域にスクールバスはないですか。

事務局：

逢坂線は、運行していません。小学生は徒歩。中高生は自家用車と自転車です。

田中委員：

河内はいいのですか。

事務局：

河内発で乗られる方が1名いらっしゃるが個別に話しをして納得していただきました。

会長：

他の地域とのサービスのバランス。要望の考え方に問題があります。手厚い対応と薄い対応があってはならないと思います。利用が2名なのに、手厚い対応に思われる。

事務局：

バスが市にあるのでそれを使います。代替タクシーも考えられますが、いきなりではなく利用実態を見て判断したいと思います。

橋本委員：

24人バスを朝から晩まで運行するのがいいか。密度が低いところにそこにタクシーを入れるのがいいと思います。県でもあるがバス、NPOしかなくて、タクシーがでてこない。経費を考えるとタクシーを入れることは行政のためにもなります。

会長：

需要があればいいが、ない場合は小型の方が(利用の仕方によっては)需要が増えます。

橋本委員：

一度決定されれば、かなりのスパンで実施されます。窓口受付場所を説明会で周知して意見を取り入れることが大事だと思います。

会長：

説明会では案を提言し、様々な問題提起はしてありますか。利用状況を見て判断し、将来的にはこういった方法もあるというような対話はしてありますか。

事務局：

将来的に利用が少なければ代替タクシーの利用も検討します。逢坂線を気高循環に引き継いだという形です。料金も均一にし、ルートも変更し利便性は高まると考えています。

会長：

1便増便ですけど、どうしてでしょうか。

事務局：

瑞穂・上光線を追加しています。2時台が空白時間帯になっています。宝木の懇談会等で、もう1便増やして欲しいとの要望がありました。逢坂線を2便減便していますので1便増便しました。

会長：

今までのバス路線を継承する必要はない。継承できないから廃止になっている。要望があったら走らせてみて、要望がなかったらきちんと整理再編する必要があるのではないのでしょうか。

事務局：

生活ニーズがありました。宝木のスーパーがなくなり、浜村までいきたいという要望もありました。

会長：

これで買い物に行く人の見込みがありますね。

事務局：

そうです。その時間がいいかどうか。1台で4ルートまわしていますので、限りがあるのでどの時間帯がいいかということは運行してみてからになります。

会長

この地域は、病院が通院輸送用の車を持っている。ただ単に路線バスを走らせていい地域であるとは思いません。タクシー、温泉病院との連携を考えるべきです。空白をあけるわけにはいかないということですが、ほかの路線とはトーン、意味合いが違います。会長としてそう思います。住民の方からの声を聞き、再編を想定においてやってみるということでご承認という形でよろしいでしょうか。

会長：

それでは、(2) 自家用有償旅客運送(市町村有償運送) 気高循環バスの更新登録について事務局、説明をお願いします。

事務局：

資料5により許可が平成20年9月30日で満期になる気高循環バスの更新登録について説明。

内容：

- ・ 料金体系は一律200円。
- ・ 路線については、支所等を経由させ利便性の向上を図る。

小谷委員：

委託については入札をされますか。

事務局：

入札と考えている。ただ、地元の業者をお願いしようと考えている。

委員：

登録期間はどの位ですか。

事務局：

登録期間は2年ずつになっています。

会長：

では、登録についても報告のとおりさせていただきます。

他に特にございませんでしょうか

事務局：

前回報告した、鳥取市地域公共交通総合連携計画調査業務のプロポーザルだが、7月18日に締め切り、4社参加表明があった。現在企画提案書の提出を要請している。8月7日にプロポーザル選定委員会を開催するので報告させていただく。

会長：

よろしいでしょうか。すべての報告事項、協議事項終わりましたのでこれにて、平成20年度第2回鳥取市生活交通会議を終了します。